

平成29年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493800039	事業の開始年月日	平成19年2月1日
		指定年月日	平成19年2月1日
法人名	特定非営利活動法人 折本福祉サービス		
事業所名	グループホーム蘭寿おりもと		
所在地	(〒 224-0043) 神奈川県横浜市都筑区折本町1374-1		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成30年1月20日	評価結果 市町村受理日	平成30年5月29日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・ホームの周りは緑に囲まれて田畑が多く、散歩など環境面には恵まれております。日常生活の中で利用者様と職員とが仲良く、一緒にお散歩する事から1日が始まり、天気が悪い日などはユニット内でトランプ、ぬり絵、歌レクなどたくさんの遊びを取り入れ、楽しんで過せる環境を提供できるように取り組んでおります。</p> <p>・1年を通じて季節に応じた様々な行事を行い、お花見、やきいも大会、歌謡ショー、踊りなど時にはドライブを兼ねて回転寿司など外食にも出かけ、お好きな物を食べられている様子は、本当にニコニコと楽しそうです。</p> <p>・地域での活動も活発で、獅子舞やお神輿、盆踊りなどにも積極的に参加し地域の皆様との活動も行なっております。利用者様と職員とが一体となり喜びも悲しみも共有、傾聴させて頂き、利用者様にとって安心して、穏やかに過ごしていただけますように日々努力してまいりたいと思います。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	H30年2月23日	評価機関 評価決定日	平成30年3月22日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の優れている点】</p> <p>◇理念の「利用者本位」に基づくケアの実践</p> <ul style="list-style-type: none">・「利用者本位」を理念に掲げて、職員は理念の実現のため、利用者の目線で考えて寄り添い、利用者の思いの実現に努めている。・理念を実現するため、毎朝13項目の行動指針「蘭寿クレド」を唱和している。更に職員は利用者本位のケアについて、“しなければならない事” “してほしい事” “してあげたい事”を日々確認してケアに当たっている。 <p>◇認知症が進まないようケアに配慮</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者との目を見ながら話を受け止め、共感し合う関わりを大切に、利用者には優しく声かけし、利用者一人一人が、家庭のように自由にのんびり自分のペースで過ごせるよう、負担になる過度な声かけはしないなど、認知症が進まないように配慮してケアに当たっている。 <p>【事業所が工夫している点】</p> <p>◇きめ細かな健康管理</p> <ul style="list-style-type: none">・職員は日常生活で、利用者にてできるだけ寄り添う時間を持ち、思いを汲み取り、体調の変化を見逃さないよう配慮している。 <p>◇毎月の自主避難訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・毎月、フロア毎に利用者も参加して避難訓練を行い、災害発生時に確実に避難誘導できるように備えている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム蘭寿おりもと
ユニット名	いぶき

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者本位の優先順位を常に考え、職員同士で共有・実践し、利用者様にとってより良い生活が送れる様に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用者本位」を理念に掲げ、職員は、行動指針13項目の「蘭寿クレド」を毎朝唱和して、理念を共有し実践している。 ・職員は、利用者の立場でその人らしい生活を支援し、感謝の気持ちを忘れないことを徹底している。 	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩の際などに近所の方々と会話をしたり、地域の夏祭り・獅子舞・お神輿・らんらんコンサート等に参加、ボランティアの方をお招きしたりと交流をしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会に加入し、地域の盆踊りには利用者も参加し交流している。獅子舞や神輿も立ち寄ってくれる。 ・ボランティアのコンサートが2～3か月毎に来訪している。 ・職員が、地域の防災訓練に参加している。 	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地元神社に初詣に行ったり、町内で行なわれている行事に積極的に参加したり、こども110番に登録している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方・ご家族様・区役所・ケアプラザの方々に、日ごろの蘭寿の様子を報告し、その際に出た意見・要望を職員同士が共有し、サービスの向上に繋げている。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は、2か月毎に開催し、町内会副会長、民生委員、保健活動推進員、ボランティア、地域包括支援センターと区役所職員、家族が参加している。 ・避難訓練や感染症、行事等で意見交換をしている。 	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	常日頃から、担当者の方々と連絡を取り合っ情報交換を行い、関係の構築を図っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の議事録を区役所へ郵送している。 ・区役所の研修参加時やグループホーム連絡会、都筑・港北ブロックの会議では、区の担当者と情報を交換し連携している。 	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束について勉強会を行いしっかりと理解をし、ホームでは身体拘束は行っておりません。玄関の施錠に関しては、防犯上夜間のみしています。	・身体拘束は行わない方針で、年数回、会議中の勉強会で徹底している。職員の命令口調や不適切な発言には、その都度注意し合っている。 ・玄関は日中は開放し、ユニットの出入口は安全上施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に虐待についての勉強会を行い、身体的な事だけでなく言葉の暴力など間接的な事も含め、職員同士が注意しあいながら防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について理解を深めてもらうために学ぶ機会を設け、現在制度を活用しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や解約時にしっかりと説明をさせていただき、同意を得ています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者・ご家族から出た意見・要望はしっかりと職員全体で受け止め、日々のサービスに活かしています。	・家族からの意見、要望は来訪時に聞き出すようにしている。家族には、利用者の様子やホームの状況を毎月手紙と写真で知らせている。 ・お茶碗が大きく、小さいのに取り替えたが、愛着があったのもとに戻して安心された。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1ヶ月に1度の会議の他、日頃から意見や提案などを聞ける様な環境が出来る様、取り組んでいます。	・職員は、毎月の会議で意見を言い提案する機会がある。管理者は、事業所内でいつでも話ができる環境づくりをしている。 ・リハビリパンツに馴染めない方を、職員の意見と工夫で布パンツに戻した事例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	普段から気軽に相談などが出来る様、申し送り時や休憩時間を利用し聞く様に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部・内部研修の機会を設けたり、疑問が生じた際はすぐに解決できるように、その人その人に合った対応をするように心掛けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	定期的に、区内のグループホームと交換研修を行ったりブロック会議に参加し、認知症の取り巻く環境やどのように関わりを持つかお互いに勉強理解し、ホームに反映できるように取り組んでいます。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にしっかりと要望をお聞きし、不安なく安心して生活して頂ける様努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、不安に思っている事や要望などをお聞きする。また、入居後も定期的にご家族と連絡を取り合い、要望等は迅速に誠意を持って対応し、関係の構築に努める。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族やご本人からの要望をお聞きし、今どんなサービスを行う事が一番必要な事か、職員全員が共有し提供出来る様努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に日々の生活を送る中で、ご本人が行える事を見つけやって頂く事で、立場にとられない関係を築いていくよう努める。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的に近況報告をし、ご本人とご家族との間に入り、共に支えていける関係を築けるよう努める。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	入居後も来訪して頂けるような環境を作ると共に、馴染みの場所へ行けるように努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は地元の方が多く、近所の馴染みの方の来訪時にはお茶を出してもてなし、関係の継続を支援している。 ・家族からの電話を取り次いだり、携帯電話の操作を手伝ったり、手紙の投函なども支援している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に利用者様全員に目を配り、良好な関係が築けるよう職員が間に入るなどして、支え合えるように支援していく。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も、ご本人とご家族の関係を大切にし、必要に応じて相談・支援を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者本位の理念の下、一人一人の希望や意向に沿えるよう定期的にカンファレンス等を行い、応えられる様努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は日常生活で、利用者にできるだけ寄り添う時間を持ち、思いを汲み取り、意向の把握に努めている。 ・把握が困難な方には、普段の様子や生活歴から推察したり、また家族の意見を大切にしている。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様等からもお聞きし、入居されてからも行えるよう生活環境を作れるよう努めていく。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りや業務日誌、連絡ノートや職員の情報交換等で共有し、現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス等にて職員の意見を出し合い、ご本人は勿論の事、ご家族様や医療機関とも連携を図りケアプランを作成し、実行モニタリングを行い、その方に適したケアプランを作成している。	・毎月のカンファレンスで利用者全員のモニタリングを行い、職員が意見を出し合い、本人・家族の要望と医師・看護師の意見を入れて、介護計画を作成している。 ・介護計画は6か月毎、変化があればその都度、見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録や申し送り、連絡ノートの活用、カンファレンス等を行い、全職員で情報を共有して、必要に応じケアプランの見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	他職員や医療機関等から意見を聞きながら情報を共有する事で、常に変化に対応できるサービスを実践し、多機能化に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	どの地域資源がその方に合っているのかをしっかりと把握し、それを使用する事で安全で安心して生活出来るよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関と連携し、定期的な往診を行う事で病気を未然に防ぎ、万が一体調を崩された際にすぐに対応出来る様に支援している。	・利用者全員が協力医を受診している。内科医が月2回往診し毎週看護師が健康チェックをしている。歯科が月2回、皮膚科が月1回、整形外科は要望で往診がある。訪問マッサージを受ける方もいる。その他外来受診には職員が付き添っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護の際などに状況報告を行い、ドクターや看護師と連絡を取り合い、適切な受診や看護がスムーズに行えるよう努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際にはお見舞いに行ったり、こまめに担当の看護師などから経過を聞き現状の把握に努め、いつでも退院の受け入れが行えるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の対応を職員間でしっかりと確認し、出来る限りご本人の希望に沿える様、ご家族や医療機関と相談し支援に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時に、重度化して常時医療行為が必要になった場合、事業所では対応ができないことを、利用者と家族に説明して同意をている。 ・終末期、状況に応じて本人、家族、医師、看護師、事業所が話し合い、できる限り支援する体制を採っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルケアの要望が増えています。具体的な取り組み方法のマニュアル化と併せて、看護師による事例研究等の実施が期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応を職員室に掲示したり、定期的に勉強会や訓練を行う事で、全職員が急変時対応できるように努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の消防署指導にて、利用者を交えた避難訓練を定期的に行い、緊急時迅速に対応出来る様に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回消防署に届けて、夜間と日勤帯の避難訓練を実施している。他に毎月1回、フロア毎に簡易訓練を実施している。訓練にはオーナーの友人や消防団の協力がある。 ・非常用食料と水を4日分と災害備品類を備蓄している。 	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に一人一人の人格を尊重し、不快な思いをさせない様に、丁寧な言葉掛けや対応を心掛けている。また、何かあった際は職員同士で注意し合えるような環境作りに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は毎朝、行動指針が記載されている「蘭寿クルド」を唱和し、利用者の人格を尊重するよう意識付けしている。 ・管理者は職員の気になる対応はその場で注意している。 ・職員同士、不適切な言葉かけがあった場合、互いに注意し合える関係にある。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員の押し付けにならない様、基本的には自己決定を基に支援していくよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に利用者の体調やペースに合わせて、希望に沿った生活が送れるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者一人一人に合った身だしなみが出来るよう、ご本人と共に行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の好みを把握し、工夫しながらお出ししている。また、無理のない範囲で食事の下ごしらえや後片付け(食器拭き)をしていて頂いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は利用者の食事形態や好みに合わせて調理をしている。 ・利用者は食器拭きなど出来ることを手伝っている。 ・外食レクリエーションで回転すし等に行き、すしや麺類、デザートなど好みのものを楽しんでいる。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎月体重測定を行い、一人一人に合った食事形態・量をお出ししたり、脱水症状にならない様にこまめに水分も摂って頂いている。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず口腔ケアを行って頂き、介助が必要な方は職員が行う。また歯科との連携も図っている。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その方の排泄パターンを把握して声掛けや誘導を行い、習慣にする事で、トイレでの排泄や自立に向けた支援をしている。	・トイレでの排泄を大切にし、排泄チェック表をもとにさりげない声掛けをしている。 ・自立で排泄している利用者は18名中13名いる。また、リハビリパンツから布パンツに変わった利用者が2名いる。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量はもちろん、食物繊維の物を取り入れたり、体操や運動量を増やして腸の動きを良くしていく。また、薬の調整などにてスムーズな排便を促している。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の体調や気分に合わせて、無理強いせず臨機応変な対応をし、楽しんで入浴をして頂けるよう支援している。	・3日ごとの入浴を基本にしている。体調や希望により清拭や足浴をする利用者もいる。 ・利用者と職員の1対1の空間を、コミュニケーションの場として大切にしている。普段は話せないことを入浴の寛いだ気分の時に聞くことができる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースに合わせて休んで頂いたり、安心してゆっくり眠れるよう環境整備に努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	日頃から利用者様の体調変化を見逃さない様子観察をしている。また、常に全利用者の最新の内服一覧表を職員室に置き、職員全員が薬についての情報を理解し、安全に確実に内服して頂くよう、医師や看護師とも連携をし支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様との会話の中で、その方の趣味趣向などを把握し、楽しみながら生活をして頂ける様支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調に注意をしながら、天気の良い日や季節を感じて頂ける時期には近隣を散歩されたり、外食やドライブなどに出掛けています。	<ul style="list-style-type: none"> ・気候の良い時期、川辺へ散歩している。近隣の畑でとれた野菜や花などを利用者のために用意し待っていてくれる住民もいる。 ・職員と車でおやつや服を買いに出かけ、お茶を楽しむこともある。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には事務所にて預かってはいますが、外出時など必要な時にはお渡しできるようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙など、いつでも自由に、ご家族やご友人の方とやり取りが出来る様に支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節や行事ごとの飾りを取り入れ、四季を感じて頂ける様にしている。また、室温や臭いなどにも気を配り、居心地の良い空間が保てるような環境作りに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・空調は職員が温湿度に配慮して調整している。壁面には利用者と職員で製作した雛飾りが貼られていて季節が感じられる。 ・気の合う利用者二人がソファでくつろいでいる様子がみられた。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者様同士で自由に気の合う方と談笑できる環境を整えている。お一人おひとりの身体的な特徴を把握し、心地よい空間作りを心掛けている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人・ご家族へお聞きして以前から使い慣れた物を配置し、出来るだけ以前と同じような環境を作り、居心地よく過ごして頂ける様に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン、クローゼットが備え付けられている居室には、テレビや家族の写真、賞状など利用者の使い慣れたものや思い出の品を持ち込み居心地よくしている。 ・温湿度の調節や清掃は職員が行い、快適に過ごせるよう配慮している。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの状態を把握し、安全に配慮しつつ、掃除や食事の準備・後片付けを一緒に行う事で、自立した生活が送れる様努めている。		

事業所名	グループホーム蘭寿おりもと
ユニット名	あけぼの

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様本位の理念を職員・管理者と共に常に共有しながら、日々の実践に役立てられる様、努力している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方々が、定期的を開いて下さっている演奏会や、防災訓練・獅子舞・盆踊り等に参加しながら、地域の方々との関わりを持っていつている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	子供110番への登録や、AEDの設置などを行い、町内の方々が行って下さる行事に参加し、皆様のご理解を得られる努力を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催し、日々の報告や話し合いをしていく中で出た、貴重なご意見は、直ぐに実践してサービス向上に役立てている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議等では、ケアサービスの取組みを積極的に伝えている。また、区役所の担当者の方へ、実情を詳しく説明している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は防犯上、夜間のみ行っている。身体拘束・暴言・暴力は絶対にあってはいけない事と全員が理解し、定期的な会議の場で話し合っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	複数の職員が関わり、着替えや入浴の際に、小さな傷も見逃さず、報告を行える体制を整え、絶対に見逃さない様に注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を行える様に、体制を整えて行きたい。また、活用できる環境を整えて行きたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者が、契約前に十分な説明を行っている。疑問や不安な事があれば、直ぐにお答えし、納得を得られるまでご説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様へは、定期的に来訪時や電話等で、近況報告を行いながら、話しやすい雰囲気を作る努力をしている。その中で出た貴重なご意見やご要望は、直ぐに改善し日々のケアに役立てている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的な会議の場や、朝晩の申し送りなどの時間に、意見など提案し易いように管理者が積極的に参加して、聞く機会を多く設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者からの細かい報告を聞き、職員一人一人が、やりがいを持てる職場作りを行い、環境を整える努力を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修へ積極的に参加出来る環境を整えている。管理者は常にフローアを回ったり、業務に入る事により、職員の力量を日々確認している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交換研修の場を定期的に設け、他事業所との関りを通じて得られた体験を、サービスの向上に役立てている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	一日も早く不安なく生活をして頂ける様、今までの暮らしや、趣味・趣向を把握し、信頼関係を深めていく努力を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に十分な説明や面談を行っている。入居して直ぐの段階では、ご家族様へ密な連絡を行い、日々の状況を報告しながら、不安やご要望がないか、細かく確認しながら、信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日々、ご本人様からのご要望や、ご家族様からのご意見、ご要望の確認を行い、サービスが適切に行われているか確認している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活をする上で、他ご利用者様との関わり合いや、共同での作業・レクを通して、一緒に参加している雰囲気作りに努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月末にお送りしている報告書や電話連絡などを通して、ご家族様との絆を大切にしながら、ご本人様と共に支えあう関係でいられる様に努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方々や、ご本人様が大切にされてきた場所等の関係が保てる様に、外出の支援等に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様お一人お一人の性格を把握し、孤立しない様に席を見直す等、ご利用者様同士が支えあえる環境作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も気兼ねなく相談して出来る様に、こちらから連絡を行い、現在の状況を把握し、相談・支援が出来る様に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様が今何を思い、どの様に暮らしていきたいのか、ご意見を伺いながら希望を把握している。また、ご本人様からご要望がお聞き出来ない場合には、ご家族様のご希望をお聞きしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様から伺ったり、ご本人様との会話の中からくみ取り、今までの暮らしの把握を行い、適切なサービスが行われる様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の細かな様子をケース記録へ入力したり、業務日報へ詳細に記入する事により把握している。また、朝晩の細かな申し送りを徹底している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なカンファレンスや、毎月のモニタリングの実施により、必要なケアが正しく行われているのか、職員全員で、介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録や業務日報・朝晩の申し送りを行い、日々少しの気付き等を話し合い、定期的な介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様からのご要望や、置かれている状況に応じたサービスが行われる様に支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご要望があった場合には、ご本人様の力が十分発揮できる様、支援していきたい。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、皮膚科、歯科の往診、毎週火曜日の訪問看護で、健康状態の把握を行い、的確に必要な医療機関に掛かれる体制を整えている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週火曜日の訪問看護で、現状の報告を行い、適切な医療機関に掛かれる環境を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族様へ往診医より説明をして頂き、速やかに適切な医療機関への紹介・連携が取れる体制が整えられている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時より、医療対応・施設対応の限界の説明を行っている。重度化・終末期へ移行した場合には、速やかに医師からご家族様へ説明を行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルに添った行動がとれる様、定期的に職員間で確認を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月、フロアで全職員で避難訓練を行い、避難経路や緊急時の確認を行っている。また、地域消防署より、避難経路の確認や指導を行って頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の居室へ入る時には、必ずノック・声掛けを行い、承諾を得てから入る様に徹底している。トイレや入浴の際も、同様に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様が自己決定できる様な声掛けを行っている。難しい様であれば、好みを把握できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご自分らしく思いのままに過ごして頂ける様、お一人お一人のペースを保ちながら、希望に沿った暮らしが出来る様に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族様のご要望や、ご本人様の好みの身だしなみが整えられる様に支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節ごとの食材や、四季折々の行事を取り入れ、職員と一緒に準備を行う等、季節感のある食事が楽しめる様に提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を業務日誌に細かく記載する事により、摂取量が適切かどうか確認している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食毎に、口腔ケアへの声かけや誘導を行い、清潔な状態で居られる様に努めている。ご自分で行えない方は、職員が必要に応じたケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	業務日誌への細かい記載を行い、ご本人様の状況に応じた誘導や声掛けが行える様に努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事量や水分量の把握を行い、牛乳・オリゴ糖を取り入れる工夫をしている。また便秘が認められた場合には、医師・訪問看護へ報告し、速やかに解消できる様に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人様の希望に添った日時で入浴して頂ける様に努力し、支援を行っている。また、ご本人様の体調に応じた入浴の支援も行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	定期的なりネン交換や、心地良く安眠して頂ける様、ベット環境を整えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が把握出来るように、薬説やお身体の状況を把握している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様の趣味や趣向を取り入れながら、無理のない範囲で気分転換が出来るように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々のお散歩や外気浴にて、日常的な外出支援を行っている。また、ご本人様のご希望をお聞きしながら、行きたい場所へ出かけられる様に、ご家族様へも協力をお願いしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事務所にてお預かりしていますが、ご本人様の外出時には、ご希望に応じた額をお渡しし、自由に使って頂ける様に支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話連絡は、いつでも自由に行える様、フロアの中央に子機を設置している。また、お手紙は職員が代理で郵便局やポストへ投函をし、ご家族様やご友人の方との繋がりが保てる様に支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングやフロアには、長時間居ても苦痛にならない快適な室温を保ち、季節感あふれる飾りつけを行い、日々季節を感じながら、心地良く過ごして頂ける工夫を行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方との談笑を楽しんで頂ける様に、お一人お一人の身体的な特徴を把握しながら、快適な空間作りに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全を考慮した上で、ご本人様にとっての馴染みの物や、好みの物が直ぐに手に取れる様に配置し、安心して心地良い空間が保てる工夫をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者様お一人お一人の状態を把握し、安全で安心してご自分のペースで生活が送れる環境作りに努めている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム蘭寿おりもと

作成日 平成30年5月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	一人でも多くの職員が終末期、看取りの研修に参加し、その場になった時にしっかりと対応出来る様に準備する。	終末期を迎えようとした利用者様へ、介護、医療、ご家族様と連携がスムーズに取れ、ご本人様に寄り添った日々を送ることが出来る。	終末期、看取りの社内研修に往診医、訪問看護師を招き、事例を交えてお話しをして頂くことで身近にとらえる事が出来、実践につなげていく。	12か月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。